

## 「材料と環境 (Zairyo-to-Kankyo)」投稿の手引き

「材料と環境 (Zairyo-to-Kankyo)」への投稿は、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 日本語または英語であり、未掲載および他のジャーナルに投稿中でないこと、かつオリジナリティがあること(腐食防食学会「投稿規程」に定める範囲において、重複を認める場合がある)。
- (2) 材料の腐食防食に関連する学術および科学技術の発展に寄与するものであること。
- (3) 投稿規程に合致するものであること。
- (4) 別に定める「原稿の書き方」に準拠して作成された原稿であること。
- (5) 論文の著作権を本会に帰属することに同意すること。
- (6) 研究不正行為および研究不適切行為をしないこと、ならびに研究不正行為をした場合は本会の定めるところにより処分を、研究不適切行為をした場合は本会の定めるところにより措置を受けることに同意すること(腐食防食学会「研究活動における不正行為等への対応に関する規程」を参照のこと)。

### 1. 「材料と環境 (Zairyo-to-Kankyo)」に投稿可能な論文

材料と環境に投稿可能な原稿は以下の通りです。各原稿の詳細については、「投稿規程」をご参照ください。

- (1) 研究論文 (Research Paper)
- (2) 総合論文 (Comprehensive Paper)
- (3) 速報論文 (Rapid Communication)
- (4) 講演大会論文 (Conference Publication)
- (5) 技術資料 (Technical Report)
- (6) 寄書 (Letter to the Editor)
- (7) 未来戦略技術と製品 (Strategic Technology and Products for the Future)
- (8) その他

### 2. Materials Transactions 掲載論文の「材料と環境」への投稿について

共同刊行誌 "Materials Transactions" へ掲載後1年以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、和訳した論文等を本誌に投稿できる。そのことを脚注に明記する。ただし査読の結果、却下もあり得る。

### 3. 研究不正行為および研究不適切行為の禁止

投稿者は、本会の「倫理規程」を順守するとともに、「研究活動における不正行為への対応等に関する規程(以下、不正行為対応規程という)」に定める不正行為をしてはならない。不正行為を行ったと認定された者は、当該規程に従った処分を受ける。

多重投稿の定義は不正行為対応規程に定める通り、

実質的に同一とみなせる論文を本誌を含めて2つ以上の審査機関または出版社に投稿する事であり、会誌および本会全体の権威を傷つけ信頼性を損なうことから、これを厳に禁止する。多重投稿の判定は編集委員会によってなされる。

1. に定める「研究論文」、「総合論文」、「速報論文」および「技術資料」を、本誌に掲載後1年以内に共同刊行誌 "Materials Transactions" へ投稿する場合は、多重投稿とみなさない。また、逆の場合も同様である。

### 4. 著作権規程

本誌に掲載される原稿等の著作権は、本会「刊行事業著作権規程」に準じ、原則として本会に属する。

著作権に関する詳細は、「刊行事業著作権規程」を参照してください。

### 5. 投稿方法とその後のプロセス

#### 5.1 投稿手順

##### (1) 原稿を電子投稿する場合

a) 投稿者は、「原稿の書き方」に従って、原稿(本文、図、表、図表説明一覧、英文要旨並びに和文要旨、英語および日本語キーワード)を完成させ、PDF ファイルに変換する。

投稿者はファイルサイズが大きくなりすぎない範囲で、できるだけ画像を劣化させないように圧縮率に注意してPDF変換する。ファイルサイズは10メガバイト以内とする。

b) 本会所定の「原稿表紙(学会ホームページよりダウンロード可)」に必要事項を記入の上、著作権委譲の同意欄に直筆でサインをした後、PDFファイルに変換する。

c) 上記a)およびb)のファイルを一つのPDFファイルにまとめる。ただし、原稿表紙をPDFファイル化できない場合は、郵送またはファックスにより事務局に送付しても構わない。

まとめたファイル名は、「投稿種類\* - 投稿者氏名.pdf」のようにする。

注) \*原稿の種類は、1. に規程する。

d) 上記ファイルを、9. 原稿の送付先に記載したメールアドレスへ送付する。予備登録後に通知されるアドレスにアクセスしてWeb上でPDFファイルを送付する。

##### (2) 原稿を郵送する場合

原稿は「原稿の書き方」に従って書き、本文、図(写真を含む)、表、図表説明一覧、英文要旨並びに和文要旨、英語キーワード並びに日本語キーワード、および本会所定の「原稿表紙」を付け、これら一式3部(2部はコピーで可。ただし、写真は鮮明なもの)と転載許諾請求手続きに関する書類1部を、9. 原稿の送付先に提出する。ただし、寄書は、英文・和文要旨を必

要としない。

### (3) 原稿の受領通知

事務局で原稿を受領し内容を確認した後、本人宛にメールで通知する。投稿1週間以内に受領通知がない場合は事務局に問い合わせること。

## 5.2 ページの目安

投稿原稿の種類	刷り上がりページ数 (表題, 図表を含む)
研究論文および総合論文	8ページ以内
速報論文	4ページ以内
講演大会論文	4ページ以内
技術資料, 寄書	4ページ以内
未来戦略技術と製品	4ページ以内

1ページの目安は、和文の場合は刷り上がりページ当たり1行25字×112行、英文の場合は同ページ当たり1,000語である。

## 5.3 カラー掲載

図(写真を含む)および表のカラー掲載にかかる実費は著者の負担とする。

## 5.4 原稿の受付日および受理日

原稿の受付日は原稿が本会に到着した日とする。ただし、投稿規程に合致しない原稿は受け付けない。

## 5.5 原稿の審査

原稿は編集委員会で審査し、掲載の可否を決定する。また、審査の結果、投稿者に修正、加筆、削除、原稿の種類の変更等を求めることがある。原稿が内容の修正等のために返却された場合、1ヶ月を過ぎて再提出されたものについては新規投稿とみなすことがある。

受理日は掲載可と判定された査読結果が本会に到着した日とする。

## 5.6 審査結果の通知

### (1) 掲載受理通知

編集委員会が論文等の掲載を決定した時は、その旨を著者に通知する。

### (2) 掲載不可通知

編集委員会が掲載不相当と決定した論文等は、その理由を付して著者へ通知する。

## 5.7 掲載原稿の提出

論文等の掲載が受理された段階で、図表以外の原稿(本文、英文・和文要旨、英文・和文キーワードおよび図表説明一覧)の電子ファイル(Wordファイルが望ましい)および印刷原稿1部を事務局へ提出する。

図表については、すべての図表を鮮明な一つのPDFファイルにまとめて提出する。

なお、提出された印刷原稿は返却しない。

## 5.8 著者校正

- (1) 著者校正は原則として1回とし、著者の責任で行う。
- (2) 原則として誤植の校正に限る。ただし、明かな誤りでやむを得ず修正する場合はこれを認めることがある。
- (3) 訂正は、ゲラ刷りに赤色で行い、周囲の余白に大きく引き出して訂正文を明瞭に記入する。著者校正の際、提出原稿は返却されないの、原稿の控えを必ず手もとにとっておくこと。

## 6. 著者負担金

- (1) 投稿・掲載費用はかからない。ただし、寄書を除いて最低50部の別刷りの購入を必須とする。

### 「材料と環境」別刷り料金表(税抜)

部 頁数	50部	100部	200部	300部
1	15,000	16,000	17,000	18,000
2	20,000	21,000	22,000	23,000
3	25,000	27,000	29,000	31,000
4	35,000	37,000	39,000	41,000
5	45,000	47,000	50,000	52,500
6	60,000	63,000	66,000	69,000
7	75,000	78,000	82,000	85,500
8	85,000	89,000	93,000	97,000
9	95,000	100,000	105,000	110,000
10	105,000	110,000	115,000	120,000

注1) 上記料金は「論文、講演大会論文、技術資料、総合論文」の価格です。

すべて表紙付き。表紙をつけないことも可能ですが、料金は同じです。希望部数が150部、250部などの端数の場合は切り上げとなります。

また300部以上は事務局へお問い合わせください。  
**なお、消費税が上乘せとなりますので、ご了承ください。**

2) 「速報論文」は上記の1.5倍となります。

3) 「未来戦略技術と製品」は上記とは別料金となります。事務局へお問い合わせください。

- (2) 図表のカラー掲載を希望する場合は、上記料金に加えて次の実費を負担する。  
刷り上がり 1ページ50,000円(税抜)、2ページ以上は80,000円(税抜)

## 7. 原稿の取り下げ

- (1) 原稿を取り下げる際は、著者がメールまたは文書で事務局まで申し出る。
- (2) 組版終了後、著者都合により原稿を取り下げる場合は、著者が組版代を負担する。

## 8. 公開後の論文訂正

- (1) 公開後の論文訂正は、著者の申し出によりErratumとして訂正記事を掲載することができる。

(2) 著者の都合による論文訂正は、1 記事あたり 2 万円（税抜）の掲載料を著者が負担する。

## 9. 原稿送付・問合せ先

(1) 電子投稿の場合

editors-113-0033@jcorr.or.jp

(2) 郵送の場合

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-13-10

(公社) 腐食防食学会 編集委員会

## 材料と環境 (Zairyo-to-Kankyo) への 投稿から掲載までのプロセス

原稿の作成（「原稿の書き方」を参照）

原稿の提出

- 1) 電子投稿（本手引き 5.1 投稿手順（1）参照）
- 2) 郵送（本手引き 5.1 投稿手順（2）参照）

原稿の受付

「原稿の受取確認」が 1 週間以内に届く  
ただし、「投稿規定」に合致しない原稿は受け付けない

編集委員会による審査

審査 → 審査結果 → 著者

修正，加筆，削除，原稿の種類変更など

- 1) 掲載可と判断した場合（掲載受理）  
著者へ「掲載通知」を送付
- 2) 掲載不相当と判断した場合  
著者へ「掲載不可通知」を送付

最終原稿の提出

掲載可と判断された場合は，最終原稿を提出

印刷所による組版作成

著者校正

刊行